

劇 指定医薬品 要指示医薬品

バックスオン-ガンボロ2

特徴

- 弱毒株を発育鶏卵で培養し、感染鶏胚を乳剤化した凍結乾燥生ワクチン
- ワクチン株は、Winterfield2512/53株(ひな用)
- 世界15か国で承認・販売実績のある製品

製品概要



【主剤】

乾燥生ワクチン 1,000ドーズ中
弱毒鶏伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス Winterfield2512/53株
感染鶏胚乳剤(シード) $10^{7.0}TCID_{50}$ 以上($10^{4.0}TCID_{50}$ /羽以上)

【用法及び用量】

本ワクチンを100mLの飲用水に溶解した後、日齢に応じた量の水に溶かして、2~4週齢の肉用鶏、採卵用鶏及び種鶏に飲水投与する。

【効能又は効果】

鶏伝染性ファブリキウス嚢病の予防

【貯蔵方法】

10℃以下

【有効期間】

製造後2年3カ月間

【包装】

乾燥生ワクチン(1バイアル 1,000ドーズ用)×10本入り1箱
乾燥生ワクチン(1バイアル 2,500ドーズ用)×10本入り1箱

本製剤は要指示医薬品です。獣医師等の処方箋・指示により使用してください。

有効性と 安全性

ワクチン投与後の抗体応答

試験設定

- ・供試動物:SPF鶏
- ・接種日齢:2週齢
- ・体重測定:2週齢、5週齢
- ・F囊病理組織学的検査:5週齢
- ・抗体価測定方法:5週齢 50%ブラック減少法

※IBDVに対する中和抗体価が200倍以上を陽性とした。

* スコア5 正常リンパ球の割合100%

**スコア4 正常リンパ球の割合81-99%

結果

	体 重(g)	F囊リンパ球分布スコア	抗体価	
	2週齢	5週齢	5週齢	
試験群	138	410	5*	≥ 1600
	140	500	5	≥ 1600
	148	460	5	≥ 1600
	146	570	5	≥ 1600
	141	470	5	≥ 1600
	139	490	5	≥ 1600
	150	530	5	≥ 1600
	140	430	5	≥ 1600
	149	600	4**	≥ 1600
	144	430	5	≥ 1600
対照群	137	510	5	≤ 2
	149	520	5	≤ 2
	144	470	5	≤ 2
	140	510	5	≤ 2

- 増体重:試験群と対照群間で有意な差は認められなかった。
- F囊リンパ球分布スコア:試験群の1羽にリンパ球の軽度な脱落が認められたのみであった。
- 抗体価:試験群の全羽に抗体の上昇を認めた。

総括 以上の成績より、本ワクチンの安全性及び有効性が確認された。

(製造販売)

ワクチノーバ株式会社

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目24番8号
オリックス浜松町ビル4階

TEL: 03-6895-3710 FAX: 03-6895-3711

E-mail: info@vaxxinova.co.jp

https://www.vaxxinova.co.jp

 **vaxxinova**
japan
veterinary prevention strategies

販売代理店